



錦繡 (東温市山之内阿歌古溪谷)

🍂🍁🍂🍁 オーダリングシステム導入にあたって 🍂🍁🍂🍁

当院は外来や病棟の医療業務に関して令和元年8月25日よりオーダーリングシステムを導入しました。オーダーリングシステムとは外来・入院の予約や受付、検査、内服や注射処方、会計、病床管理、看護業務、栄養管理など病院業務の多くをパソコンで管理することで診療の効率化を図る仕組みのことです。例えば医師が行う検査や投薬の指示(オーダー)をパソコンに入力することによりペーパーでの指示を作成する時間を短縮し、その内容を関連部署が共有できることにより口頭での指示ミス軽減にもつながります。一連の作業が安全にかつ効率的に行えるようになることで患者さんの外来での待ち時間短縮やスムーズな入院治療への移行も期待されます。

導入に際して私のようなアナログ世代には不安が否めませんでした。データ打ち込みの事前作業、リハーサルを経てなんとか無事に移行できました。まだまだ不慣れで戸惑うこともありますが、患者さ

ん一人ひとりの検査の流れや待ち時間を簡単に把握できるようになり便利です。また外来中、入院患者さんの指示を出す際も席を離れることなくパソコン入力ですべてオーダーできるので、外来と病棟が離れている当院では大変楽になりました。

外来では受付方法が変わったことで患者さんにはご迷惑をおかけしますが、このシステムのメリットが最大限に活用できるようにどうかご協力をお願いします。

私達にとって、患者さんに向かい顔色や話す様子など見ることはとても大事な診療のひとつです。パソコン画面ばかり見ていることにならないよう心にとめ、患者さんファーストに努めていきたいと思っております。

副院長 阿部 聖裕

アニバーサリー

第10回 地域医療連携交流会

令和元年9月13日(金)に第10回目の地域医療連携交流会を松山市内のホテルサンルート松山にて開催しました。この地域医療連携交流会は松山・今治・新居浜・西条・伊予の各地域に所在する医療・福祉関係機関の皆様との連携を深めることを目的といたしておりますが、各機関からは医師、看護師、MSW、事務職など多職種かつ多数のご参加を頂き、当院職員を含め約120名の盛会となりました。

阿部副院長の司会により、開催の挨拶、岩田院長による当院の診療機能・院内施設・紹介件数の推移・救急医療の状況等の説明、交流会に参加している当院の医師と看護部職員の紹介などがありました。その後、愛媛県医師会会長 村上 博 先生のご挨拶、また東温市医師会副会長 中野 敬 先生による乾杯のご発声の後に、料理や飲料を楽しみながらの意見交換会が始まりました。ご参加の皆様



乾杯の音頭をとる
東温市医師会：中野副会長

あっちでも



はそれぞれに意見交換・情報交換・名刺交換を行っておられた模様ですが、特に医師同士の意見交換・情報交換が活発であったという印象が強く、交流会開催の意義はあった様に思います。

愛媛県の各地区で策定される地域医療構想は各医療機関の運営・経営等に様々な影響を与えることになりそうですが、このような医療情勢の中で病院、診療所、介護・福祉施設等との連携強化による在宅療養も含めた地域医療の一層の充実が求められると考えます。当院も、より良い連携関係が構築できるよう取り組んでいきたいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。

ご多忙の中、多くの皆様にご参加を頂き誠にありがとうございました。

経営企画室長 榎川 浩之

お・も・て・な・し



こっちでも



地域の輪

繋がる地域医療連携



もりまつ内科



森松重信線沿いで浮穴小学校近くの松山市森松町に平成23年10月にもりまつ内科を開院して、もうすぐ9年目になります。兵庫県出身で、愛媛大学にきてから地域の方々に色々とお世話になって愛媛の地で過ごしたくなり、愛媛大学第1内科に入局しました。第1内科では主に血液疾患、感染症、膠原病等の全身管理が必要な診療に従事し、松山赤十字病院、喜多医師会病院、西条市民病院では糖尿病、消化器疾患、高齢者医療及び一般内科診療に携わり内科医として幅広い領域の診療をさせて頂きました。現在は糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病を中心に一般内科診療を行っています。

当院へは、発熱や咳、腹痛や下痢等で受診されたり、血圧が高くて心配、糖尿病が気になる、健康診断で異常を指摘されたといった様々な主訴で受診されています。病気の内容や、処方する薬またその副作用、食事内容や生活等で気を付けることなどについてできるだけわかりやすく説明するとともに、かかりつけ医としてなんでも相談できる診療を心掛けています。より高度な医療が必要な時は愛媛医療センターを始めとする専門の病院や近隣の専門の先生方のクリニックに御紹介させて頂いております。

愛媛医療センターの方々には医療連携でいつもスムーズに御対応して頂き日々の診療を助けて頂いております。これからも微力ながら地域医療に貢献して参りたいと存じますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

施設名：もりまつ内科

院長：長谷川敦彦

診療時間：月・火・木・金 9時～12時30分、
14時30分～18時30分
土・日 9時～12時30分

休診：水曜日、土曜日と日曜日の午後、祝日

住所：松山市森松町148-1

電話：089-976-2525

ただいま、古田です

こんにちは、消化器内科の古田です。1年振りに無事、生還できました。15年近くを勤めた愛媛医療センターより市立宇和島病院に転勤となったのが去年7月でした。

転勤して最初の洗礼が赴任して5日目の週末金曜の西日本豪雨でした。豪雨の中を高速道路で松山に戻り、数時間後に高速が通行止めになりました。日曜には国道56号も一部封鎖され、八幡浜経由で宇和島へ戻ることとなりました。

市立宇和島病院は南予救命救急センターを兼ね、1次から3次医療まですべてをカバーし、1年休みなく救急患者を受け入れています。8日に一度の輪番制が当たり前と考えていた私にとっては非常に苛酷な医療環境でした。

内視鏡件数も愛媛県下有数で、昼間の予定検査がぎっしり入っているため、検査が夜8時近くになることも珍しくありませんでした。おのずと夜中に来院した緊急患者さんの処置はそのまま夜中に済ませてしまう習慣ができました。

宇和島は平野部が狭く、半日もあれば歩いて市

街地を回ることが可能です。また江戸時代末期から明治時代にかけて歴史上、有名な偉人を多く輩出した土地でもあり、幕末の四賢侯の一人、宇和島藩八代藩主 伊達宗城、明治時代の天津事件時の大審院（現在の最高裁判所）院長 児島惟謙（こじまこれかた）や、法学者 保積兄弟らがいます。

児島は、日本を訪問中のロシア帝国皇太子（後の皇帝ニコライ二世）を滋賀県大津で切り付けた警察官 津田に対して、政府からの死刑にすべしとの圧力に屈せず無期懲役の判決を下し司法の独立を守った人です。

夜、仕事後に体力が残っていればできるだけ、それら偉人の史跡を巡りながら歩くようにしていました。

愛媛医療センターに戻って、いかに周囲の医療環境が恵まれているかを実感し、中予地区で勤務できるのは宇和島で孤軍奮闘している戦友たちの努力の上に成り立っていることを感謝し、可能な限り地元の医療に貢献したいと考えています。



医 心 伝 心

脳卒中のおはなし

健康寿命をご存じですか？平均寿命から医療・介護に依存している期間を除いたもので、2016年の厚労省推計では男性72.1歳、女性74.2歳、平均寿命との差は男性8.8年、女性12.4年でした。この差をもたらす最大の原因が「脳卒中」です。脳卒中は65歳以上の寝たきり原因第1位。発症すれば、たとえ死亡しなくても麻痺や認知症などの後遺症に悩まされるのです。

では予防するにはどうしたらいいのでしょうか。脳卒中には脳血管が詰まる脳梗塞、脳血管が破れる脳出血やくも膜下出血があり、共通する原因の一つが高血圧です。まずは、血圧が高い、血糖が高い、コレステロールが高いといった動脈硬化を進める要因について健康診断などでチェックし、塩分を控えめに、摂取カロリーや脂肪を減らす、運動するといった生活習慣の改善を行います。そ

各科のドクターがそれぞれの専門分野から、病気・治療・予防等々フリーテーマで一文をしたためます。

れでも下がらない場合は病院でお薬の相談をしましょう。心房細動という不整脈の治療も脳梗塞予防のひとつです。喫煙や飲酒も動脈硬化を進めますので、禁煙や休肝日を設けることも有効です。それでも起こってしまった場合は早めに病院受診を！脳卒中発症から来院までにかかる時間は、患者さんやご家族が救急通報にかかる時間によって大きく左右されます。脳卒中はどの季節にも発症し、年中注意すべき病気です。重い後遺症を残さないため、“脳卒中かな”と疑ったらすぐに病院を受診し、早期治療につなげていきましょう。

脳神経内科 尾原 麻耶



医療安全 管理室 だよ こんなことしています

オーダーリングシステムで医療安全推進！

令和元年8月25日より、オーダーリングシステムが導入されました。オーダーリングシステムとは、検査や処方

などの医師の指示を電子的に管理する医療情報システムのことです。「紙の伝票」がなくなり、パソコン上で指示を出したり確認することができるようになりました。システムの変更に伴い、外来の玄関入口に再来受付機という機械が設置されました。予約をされている外来受診の際には、その機械に診察券を通して受付を行います。受付が終了すると外来に情報がすぐ届きます。外来の待ち時間の短縮につながりますので、ご協力をお願いいたします。

オーダーリングシステムの導入により、次のような医療安全推進が期待されます。

1. 受付伝票を活用して患者誤認防止

受付票で、患者さん自身に診察や検査の内容確認を行ってもらい、各受付場所では、お名前を名乗って頂き受付票と照らして確認することができます。

2. 伝票レスにより事故を未然に防ぐ

各部門とのシステム連動により、伝票を介した転記が無くなり、転記ミスを防ぐために行っていた確

認時間も短縮できます。医師の字が読めない…ということがなくなります。

3. 正確な採血・注射の実施

採血では、オーダから情報を取りマシンにより検体容器を選び、ラベルを貼り付ける所まで、自動で準備できるようになりました。確実に準備ができます。また、注射では、注射ラベルと患者ネームバンドのバーコードを読み込み照合し、間違いがないかを確認することができます。

今は、まだまだ不慣れで患者さんにご迷惑をおかけするかもしれませんが、今後、システムを使いこなし効果を最大限に発揮し、安全でスムーズな医療が提供できることを目指していきます。

1階病棟看護師長 山崎 かおり



夏休みは
白衣に
着替えて

職場体験

ハイテクう～



調剤見学 (薬剤部)

愛媛県が推進している「えひめジョブチャレンジU-15」事業の一環として、東温市内の重信中学校の職場体験を8月に受け入れました。生徒がそれぞれ自分の関心のある職場を選んで訪問するというもので、当院に来られたのは、将来医療関係の仕事に就きたいという希望を持った方々でした。中には、「助産師になりたい」「薬剤師か放射線技師になりたい」という目標を持っている方もいました。

今回、中学生の職場体験を受け入れるにあたり、看護部をはじめとして、各職場の協力により以下のスケジュールを組み、実施しました。

- 第1日目 午前：
オリエンテーション、院内見学
- 第1日目 午後：
リハビリテーション科の見学及び職場体験
- 第2日目 午前：
3階病棟で看護師の職場体験
- 第2日目 午後：
4階病棟で看護師の職場体験
- 第3日目 午前：
薬剤部の見学及び薬剤師の職場体験
- 第3日目 午後：
放射線科の見学及び放射線技師の職場体験

また、生徒さんには、ナース服に着替えてもらい、3日間の職場体験に臨んでもらいました。生徒さんは、この3日間、それぞれの職場で職員に対し、疑問に思ったことについては、質問したりして、真剣に学ぶ様子が院内のあちこちで見られました。

今回、病院で働く多くの職種の人々と触れ合い、普段見ることのできない施設の内部を見学することで、生徒さんからは、職場体験を終えて、「とてもいい経験ができた。この職場体験を通じて、更に、医療関係の希望する職種に就ける夢を叶えたいとの想いを強くした」「患者・職員とのコミュニケーションの大切さを学んだ」という感想を述べられた方がいました。また、病院には医師・看護師以外にもいろいろな職種の人が働いていることがわかり、それぞれの職種に関心を示してくれた方もいました。

今回のような職場体験を通し、生徒の方が、将来の医療を担うべく、自分が目指す医療従事者を目指すきっかけにしてほしいと思います。

管理課庶務班長 森本 武光

重い！



防護衣体験 (放射線科)

四季燦餐

～かぼちゃの巻～

朝夕の風が心地よく感じられる季節となりましたが、いかがお過ごしですか。

「サンマ」「柿」「新米」など秋を代表する食材を目にする機会も増え、秋の訪れを感じられているのではないのでしょうか。

今回は、秋の食卓に欠かせない「かぼちゃ」についてご紹介します。

かぼちゃには、大きく分けて3つの種類があります。

一つ目は、もっともよく食されている「西洋かぼちゃ」です。(主な品種：くりかぼちゃ、坊ちゃんかぼちゃなど) ホクホクとして甘味が強く、果肉が柔らかいので料理だけでなくケーキやプリンといったお菓子にも利用されています。

二つ目は、「南京かぼちゃ(別名:日本かぼちゃ)」です。西洋かぼちゃに比べ水分は多く、煮崩れしにくく扱いやすいため根強い人気があります。

三つ目は、ハロウィンでおなじみの「ペポかぼちゃ」です。「ジャックランタン」として、観賞用としても使用されていますが、味は淡白なので、豚肉やベーコンといった他の食材と一緒に調理するとよいでしょう。ズッキーニや金糸瓜(そうめんうり)も、その仲間になります。

夏から秋にかけて収穫されたかぼちゃは、2～3か月置いておくと甘味が増してホクホクとした食感となります。煮物や天ぷら、サラダだけでなく、これからのあたたかいものが恋しくなる時期は、グラタンやスープなんていかがでしょうか。



そのキャリア 活かしませんか？

看護師募集中



- 募集予定人数 数名程度
- 採用試験日 随時
- 応募資格 看護師資格を有する方
2020年3月に看護師資格取得見込みの方
- 給与 与 国立病院機構給与規定により支給
手当 専門看護手当 夜勤手当 通勤手当 住居手当 業績手当 その他
- 休日 4週8休(週38時間45分勤務)
年次休暇 病気休暇 特別休暇 リフレッシュ休暇(何れも有給)
- 福利厚生 厚生年金 社会保険 職員宿舍 保育所(何れも院内)
- 教育 新採用看護職員の継続したキャリア支援を可能としたキャリアラダーにより
ステップアップしていきます
- その他 マイカー通勤可能(無料駐車場有り)
- 連絡先 愛媛医療センター 事務部管理課 庶務係長
電話 089-964-2411(代表)(内線207)
履歴書は国立病院機構中国四国グループのホームページからダウンロードできます(<https://chushi.hosp.go.jp/recruit/kangoshi/saiyo.html>)

看護学校の頁 ～学び舎から～

令和最初の

オープンスクール

令和元年7月21日(日)、7月28日(日)の2日間で愛媛医療センター附属看護学校のオープンスクールを開催しました。夏を本格的に感じさせる暑さでしたが、高校生と社会人の多くの方に参加していただきました。両日共に受け付け開始時間より早くから皆様が集まり、関心の高さが感じられました。

当日は、午前中に学校の概要説明と、教員によるBLS（一次救命）の公開講座、午後からは「手浴」「沐浴、妊婦体験」「BLS」「在

校生との交流会」を体験してもらいました。手浴では、「実際にこのような援助を行うのは初めて知った」「看護師になりたいという思いが高まった」「実際に患者さんにやってあげたいと思った」という感想が聞かれ、とても嬉しく感じました。BLSのブースでは午前中の講座を通し学んだことを活かしながら熱心に取り組む姿もみられました。交流会では参加者の方からの実習や学校生活等に関する質問が多くありました。質問に対しては、私達の体験を交えて説明することで、看護学生の生活について知ってもらう機会になったと感じています。

今回のオープンスクールでは看護や学校生活について知っていただく機会になったと思っています。このオープンスクールをきっかけに看護師になりたいという気持ちを再確認し、参加していただいた皆様の中から少しでも多くの方が当校に入学していただき、共に看護の道を歩んでいけることを楽しみにしています。

第16期生 岡田 実奈 濱井 美佑

離れてくださいっ！



AED体験

ちよんと言ひ放し

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

突如、「孫」なる謎の生命体が、私の生活の一端に闯入してきた。長男夫婦の初めての子で、男の子だ。誕生から早一か月が過ぎ、母子ともに健康で、先ずはひと安心といったところ。

ところで、若かりし頃。まだ可愛かった妻と付き合っていた当時は、この人と結婚して、子供ができて…ぐらいのことは漠然とだが考えていたもの。遠い将来、その子が成長して、結婚して、子供ができて…しかもその子が我が孫であるなどは想像の持外(もくわい)だったのだが、これは、紛れもない現実であるらしい。妻も同様で、孫の出現に少々戸惑っているようだ。

世間では、「孫ほど可愛いものはない」とか、「孫は無責任に可愛がれるからいい」とかいうが、この腕に初孫を抱きはしたものの、まだ実感が湧かずにいる。時間が経ち、猿の子だから人の子だから分らない状態から、人類に近づくにつれて、可愛さが増してくるのだろう…と呑気に構えているのが現状だ。

それでも、幼稚園ぐらいいなったらキャンプに連れて行くとか、動物園に行こうとか、5人5人計画を巡らせているのだから、「爺(おじいちゃん)と指弾されても致し方ないところか…」。

年末には、次男夫婦のところにも子供が生まれる予定で、私は一気に二人の孫宝に恵まれることになる。

人生の黄昏に来て、こんな慶事が訪れようとは…朽ちてゆくにはまだまだ早い。こうなったら、曾孫をこの腕に抱くまでは元気で頑張ることしよう。

さて、孫が少し言葉を覚えたら私のことは何と呼ぶせよう。「じいじ」なんぞというありきたりな呼び方は、私の望むところではない…そうだ！お洒落に「グランパ」と呼ばせよう。

新米グランパの妄想はとどまることを知らない。

グランパだよ



樹懶菴

外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834
外科外来直通電話 089-990-1835

診療科	診察室	午前・午後	月	火	水	木	金
循環器内科	6診	午前	船田	船田	泉	岩田	関谷
		午後		岩田			
	11診	午前					
		午後			船田		
	12診	午前					
		午後			泉		
消化器内科	9診	午前	古田	山内(一)	久保	山内(一) (糖尿病専門)	久保
		午後					
	12診	午前			廣岡	大藏	
		午後					
呼吸器内科	10診	午前	阿部	伊東	佐藤	阿部	伊東
		午後					
	11診	午前		渡邊		仙波	山本
		午後					
神経内科	12診	午前	小原	尾原			戸井
		午後				小原	
整形外科	15診	午前	宮本			宮本	担当医(初診のみ)
		午後					
	16診	午前	相澤		相澤		
		午後					
リハビリテーション科	15診	午前		曾我部	曾我部		
		午後					
外科	14診	午前					
		午後		石丸			
消化器外科	14診	午前		鈴木	森本	渡部(第3週)	
		午後					
呼吸器外科	14診	午前					湯汲
		午後				佐野(第4週14時30分~)	
小児科(神経外来)	14診	午前					
		午後	菊池		濱田		菊池

専門外来(予約制)		月	火	水	木	金
心臓外科外来	14診				泉谷(隔週)	
ペースメーカー外来	6診				第2・4(午後)	
糖尿病外来	11診					神崎(月1回)
フットケア外来	8診				毎週	
スキンケア外来	救外		第1・3(午前)			
ペインクリニック	11診			山内(康)(午前)		
じん肺外来	14診					西村(第1・3午前)
アスベスト外来	11診		午後		午後	
息切れ外来	11診	渡邊(13時30分~)				
SAS外来	11診					渡邊(14時~16時)
頭痛外来	13診				永井(第2・4午前)	
神経難病	13診			橋本		

※外来受付は8時30分から12時までです。内科は13時から16時までです。
ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

2019年10月1日現在

独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251
ホームページアドレス <https://ehime.hosp.go.jp>

※弊紙の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。